

ブラジル北東部クリーン電化事業（CL融資）

クリーンな電源を活用して最貧困地域の電力インフラを整備

事業概要

ブラジルの最貧困地域である北東部の最大州バイーア州において、政府から事業権を得て配電事業を展開するCompanhia de Eletricidade do Estado da Bahia（Coelba）への融資を通じ、再エネを主電源とした電化及び電力ロスの抑制による省エネ化を図るもの。

インパクト

1. 最貧困地域である北東部のインフラ支援

ブラジルは所得間格差が大きく、貧困率は南部の12%に対し最貧困地域の北東部では44%。電力への系統接続に関しても北東部を中心に電力系統未接続人口が125万人存在し、バイーア州では21.5万人に達する。

2. クリーンな電源による電化

系統未接続地域ではディーゼル発電やケロシン油等を用いざるを得ず、CO2排出に加えて安全・健康上の課題を抱えている。電力ロス率も13.5%と高い。ブラジルの電源構成は73%が再生可能エネルギーを占めており、系統接続によりクリーンな発電を促進できる。

3. 民間金融機関・地場開発金融機関との協調

MUFGに加え、ブラジル地場開発金融機関かつIDFCメンバーであるBNDESと共に、最貧困地域における電力インフラの整備に取り組むもの。



写真：
配電設備のメンテナンス
を行うCoelbaの職員